

トマトの支柱立て 1/3

- トマトの苗を確認し、側枝を取ります。
- マルチ穴の北側(穴のへりから15cm離れた位置)に支柱を立てます。(計6本)
- 支柱は240cm、16mmのカラー鋼管と120cm、16mmのカラー鋼管を使います。

支柱立ての手順

① トマトの側枝を切ります。



側枝とは、葉と幹のまたから生えてきている新芽のことです。
側枝を取る際に、葉をとらないように気をつけましょう



トマトの支柱立て 2/3

- ② カラー鋼管をマルチ穴から15cm程度北側で通路際の位置にさします。(図1、2)
カラー鋼管は上部10cm程度のところで交差するようにさします。(図3)
カラー鋼管の滑り止めがある位置までさし込みます。

図1

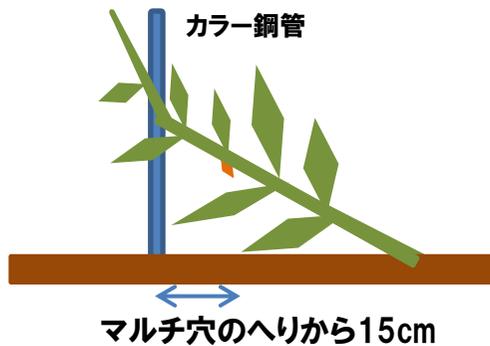
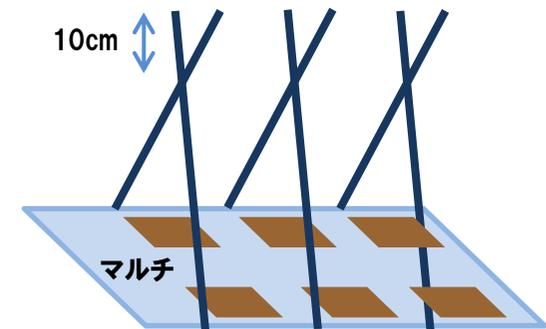


図2

カラー鋼管の位置



図3



※: カラー鋼管をさす際の注意
とがっている方を地面にさします。



トマトの支柱立て 3/3

- ③ 120cm、16mmのカラー鋼管をカラー鋼管が交差しているところに置き、7本のカラー鋼管をビニール紐でまとめて結束します。



120cmのカラー鋼管を上に乗せ、
まず、はしをしっかりと縛り3本を固定する
そのあとに真中と反対側のはしを1本の紐で縛る。

- ④ トマトをクリップでカラー鋼管に誘引します。
花が手前を向いているようにつけます。



カラー鋼管にクリップの予備を付けておきます
今後は週に1回を目途に側枝取り
と支柱クリップの調整を各区画で進
めてください。
(農園スタッフが定期的に作業を進
めてます)

バジルの支柱立て

- バジルに支柱を立てます。
- 75cmの支柱を使います

＜支柱立ての手順＞

①バジルの幹から3cm程度離れた箇所に支柱を垂直に立てます。

②結束用のワイヤーで結びます。

この時に小指一本が入るくらい余裕を持たせておきます。

インゲンの支柱立て

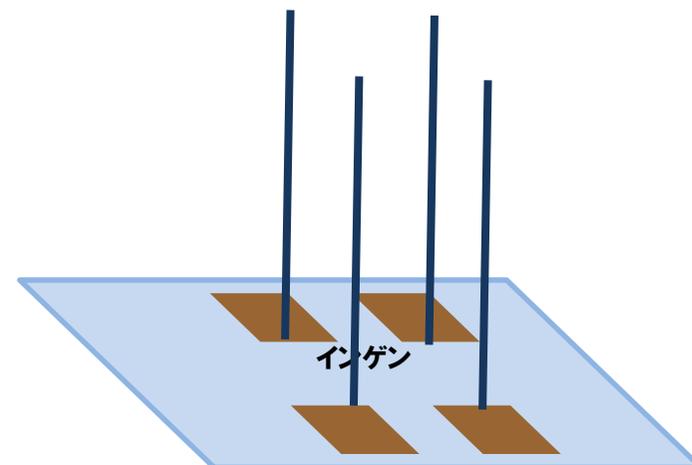
- インゲンの支柱立てを行います。
- 240cmの支柱を使います。
- 種をまいた4か所夫々に支柱を立てます。

＜支柱立ての手順＞

- ①インゲンのマルチ穴の内側縁あたりに支柱を垂直に立てます。
支柱は深めにさし、手を伸ばして支柱の上部が触れるような高さにします。



カラー鋼管の位置
マルチ穴の縁。内側。

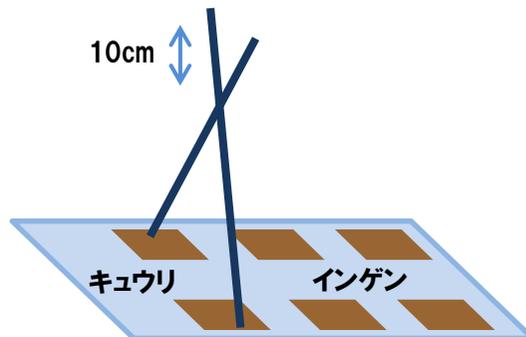


キュウリの支柱立て 1/3

- キュウリの支柱立て作業を行います。
- この作業はキュウリを選択している区画のみ対象です。モロヘイヤを選択したお客様はこの作業を行いません。
- 240cmの支柱を使います。
- きゅうりは複数本を列で植えて栽培する際はキュウリネットを使いますが、ポモナでは1区画あたり2本ですので、1本仕立てで栽培します。

<作業手順>

- ① カラー鋼管をマルチ穴の通路側よりの位置にさします。
カラー鋼管は上部10cm程度のところで交差するようにさします。(図3)
カラー鋼管の滑り止めがある位置までさし込みます。



キュウリの支柱立て 2/3

- ② キュウリの支柱(上部10センチ程度の位置)が交差している位置をひもで縛ります。



- ③ キュウリを支柱に誘引します。トマトと同じクリップを使います。



キュウリの支柱立て 3/3

② キュウリの剪定

キュウリは脇芽が沢山でてくる植物です。キュウリの下の方には脇芽がいくつも出ていて、それぞれにキュウリの花が付き始めます。脇芽を伸ばし続けると、枝が混んできて、傷や病気などの原因になります。

脇芽は一つ目もしくは2つ目の花(実)の位置で切り落とします。



脇芽についている実の先で切る